

讃留霊王神社（古墳：4～5世紀）

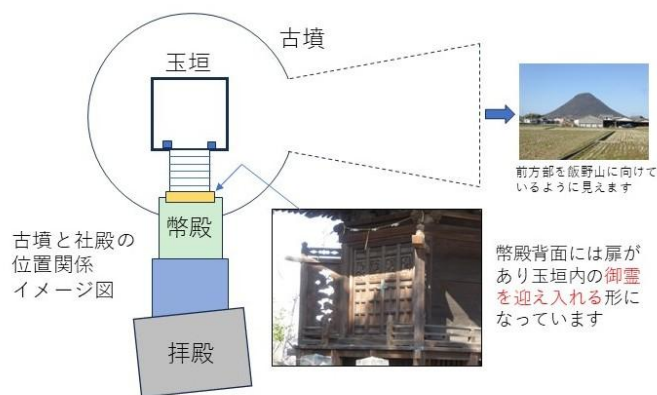
～「古墳の被葬者を祀っている」ことが明確な
極めて珍しい形式の神社～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. 法勲寺（跡）
6. アクセス



初版：2025.12.17



1. おすすめポイント

★古墳の被葬者を祀っていることがこれほど明確な神社は他にありません（極めて珍しい！）

貴重ゆえに文化財に認定されたようです。

★讃留霊王とはどんな人だったのでしょうか？

諸説あるようですが、讃岐に多大な貢献をされた方であるのは間違いありません

2. 説明

讃留霊王神社

●祭神

たけかいこう やまとたけるのみこと きびあなどたけひめ
建貝児王（父：日本武尊・母：吉備穴戸武姫の第5王子）

●古墳・御神体

景行天皇の23年（西暦71～131）勅に奉じて南海の悪魚を退治
讃岐国を守り給う。国人称して讃留霊王という。

前方後円墳（古墳前期300～400年）

全長101m 後円部L=32m H=5m

（讃留霊王を祀る神社は後円部の中心にある）

●見どころ

古墳と神社神殿は全国的に珍しい建築様式

- ・石塔 元宮 土盛
- ・神社建物 本殿裏面扉 建築様式
- ・献金石碑 香西浦から（明治時代）

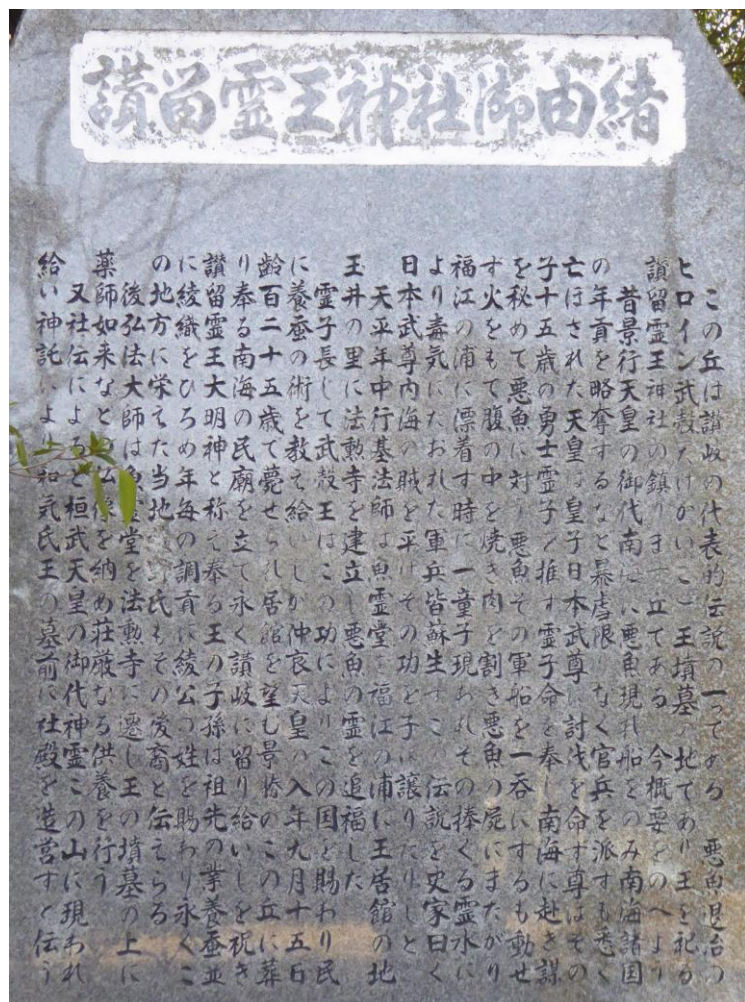
出会い ふれあい みんなで築く田園のまち 法の郷

御神体が「古墳」



2-2

説明版



神社由緒石碑

・ < 前略 >

・ **行基**が魚霊堂を福江の浦に、王居館の地、玉井の里に法勲寺を建立し、悪魚の霊を追福した。

・ 王の子孫は養蚕、綾織をひろめ綾公の姓を賜った

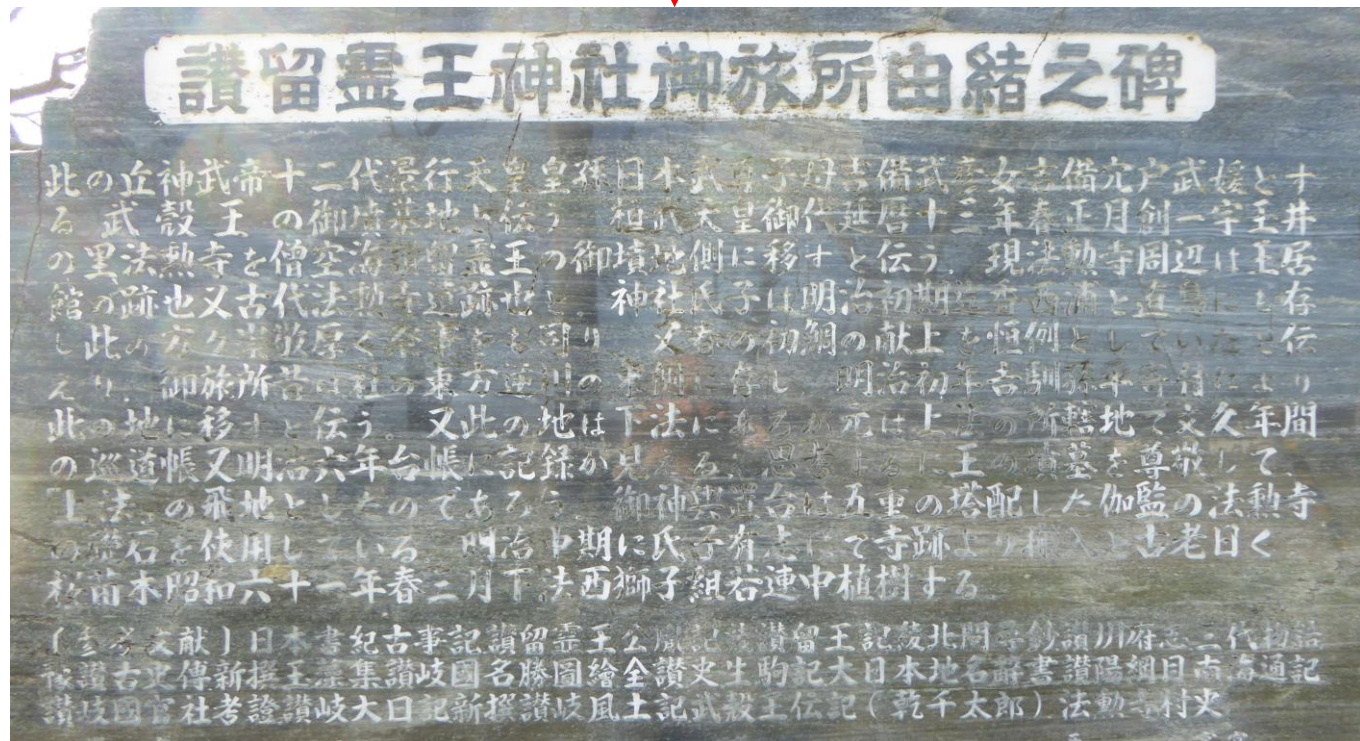
・ **弘法大師**は魚霊堂を法勲寺に遷し、王の墳墓の上に薬師如来などの仏像を納め荘厳な供養を行った

・ 神託により**和気氏**が墳墓の前に社殿を造営した

2-3

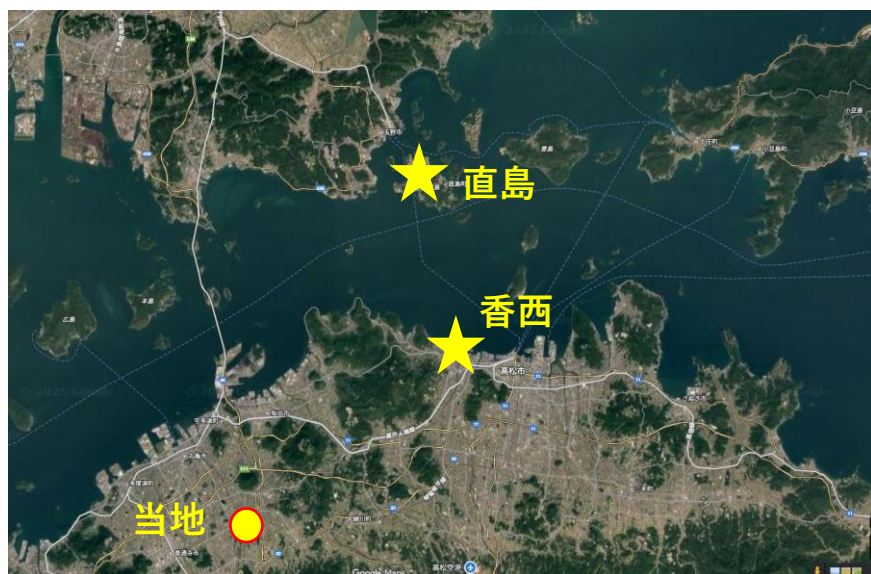


2-4



2-5

神社由緒石碑 2



2-6

Google Mapに赤黄で追記

©2025 吉備鳥瞰 All Rights Reserved

碑文（横書き）によれば
明治初期まで直島や香西
浦にも熱心な氏子がいた
とのこと。

瀬戸内海で暮らす人々に
大きな貢献をされた方な
のでしょうか？

【神社の特徴】

- ・讃留霊王が埋葬されているという
前方後円墳の後円部墳頂に**玉垣**が
設置されている
⇒被葬者を祀っていることが明確
- ・玉垣と幣殿は通路で結ばれており、
幣殿の背後は扉になっている
⇒玉垣から**御霊を社殿に「迎え
入れる」**意図が明確



3-1



3-2 幣殿背後の扉

幣殿
背後側に扉
『棧唐戸』



3-3



3-4



3-5 古墳 後円部墳頂に設置された玉垣

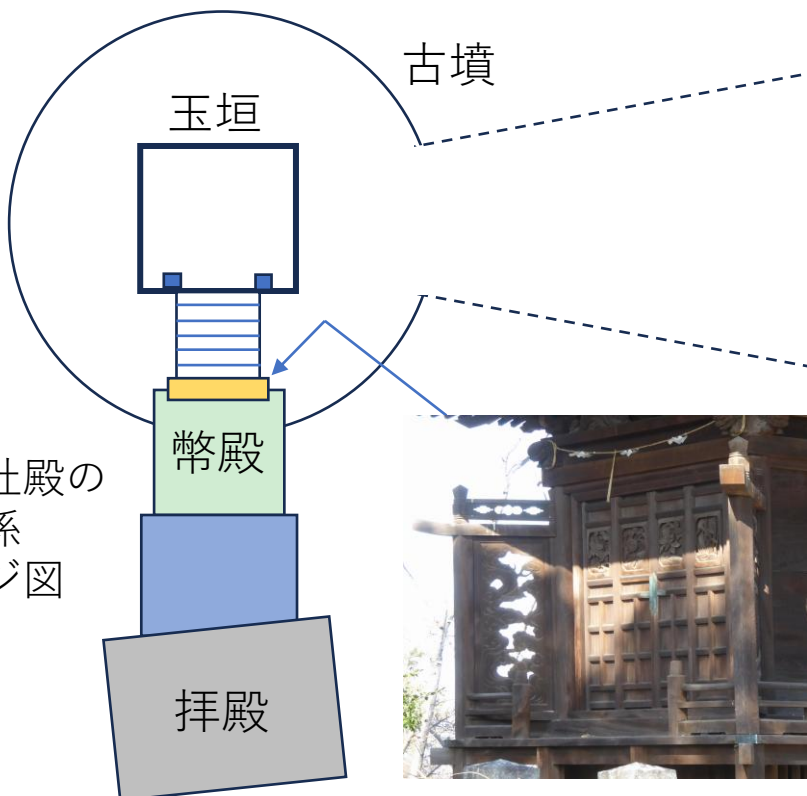


3-6

玉垣
幣殿と通路
状の構成



4-1



4-2
古墳と社殿の
位置関係
イメージ図

4-3



前方部を飯野山に向けて
いるように見えます



幣殿背面には扉が
あり玉垣内の御霊
を迎え入れる形に
なっています

4-4

5. 法勲寺（跡）

礎石は発見された近くの地から移設されたものです



5-2 復元された塔の礎石

5-1

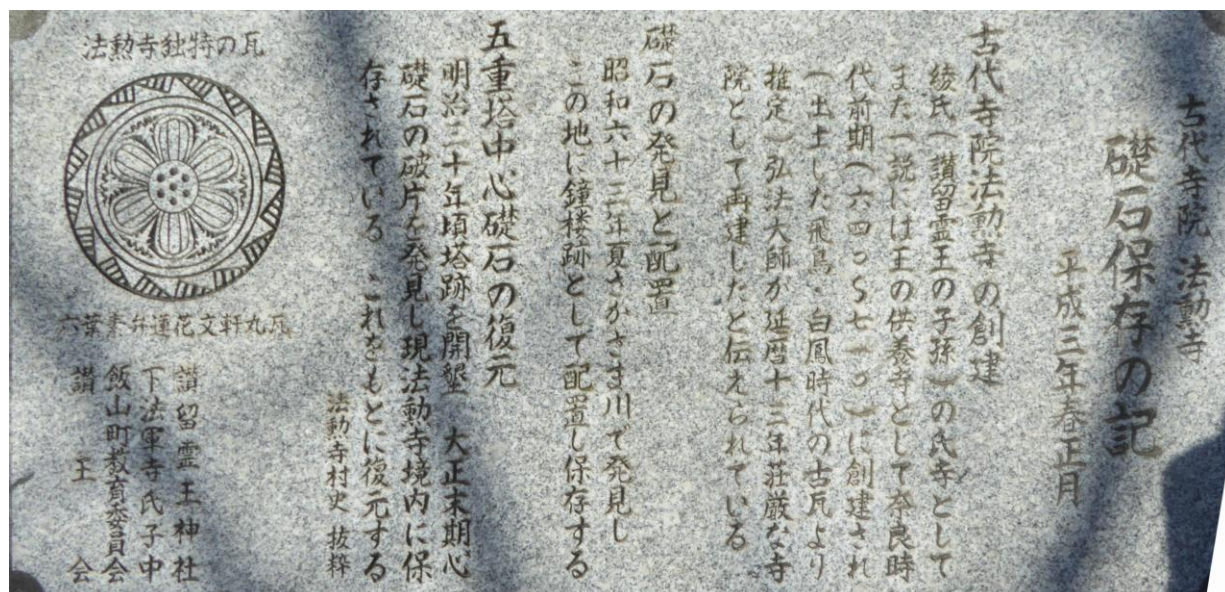
法勲寺跡 奈良時代前期 創建 (西暦645~710)

- 寺名の由来
大無量寿経巻上の四句偈「神徳無量功勲広大」による。
武甕王悪魚退治は薬師如来の威徳の法の勲であるとし、これを彰するため建立
- 寺の境内
日吉の丘陵の先端・大東川（逆さま川）の一町四方
- 伽藍配置
南中門・正面講堂・東金堂・西に塔の 奈良法隆寺に似ている
- 礎石群の中心で柱座掘り込み式
直径1m、深さ3cmの皿型のくぼみ（心柱を据え付ける）
白鳳時代に流行（奈良時代初め）
大正時代開墾時、芯礎を細かく割った一部を発見。
その一部、法勲寺に保存されていたものを、讃留霊王神社御旅所に保存。
- 瓦（白鳳時代～室町）
軒丸瓦（8種類）同様：田村廃寺（丸亀）・妙音寺（豊中）
軒平瓦（5種類） 出土古瓦で時代考証

出会い ふれあい みんなで築く田園のまち 法の郷

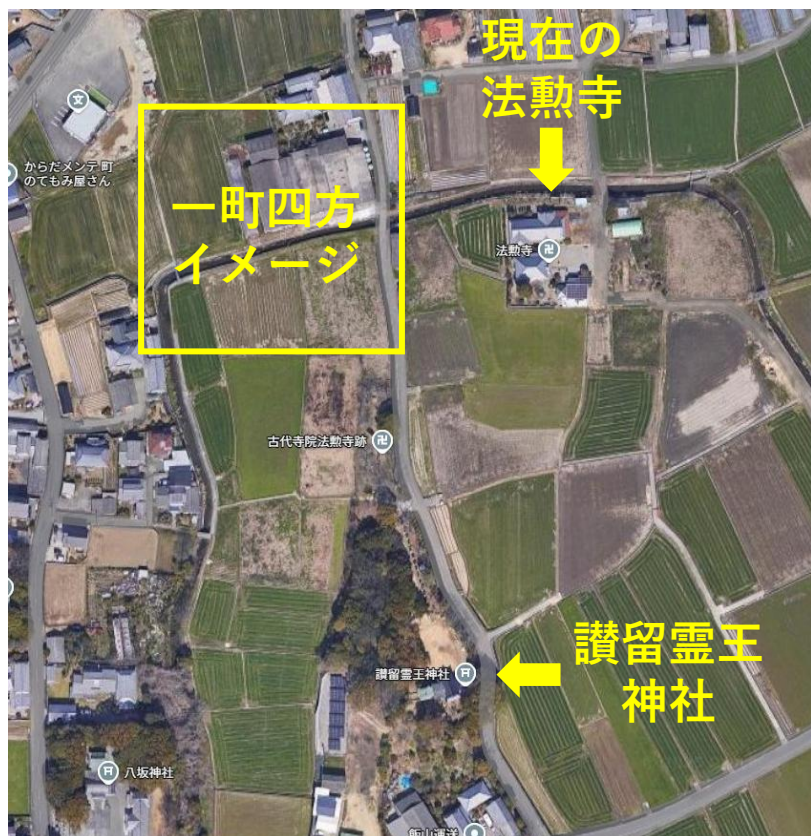
説明版

5-3



5-4 礎石保存の石碑

説明版によれば法勲寺の境内は一町四方



5-5

Google Mapに黄で追記



5-6

地理院傾斜量図に赤で追記



5-7

地理院地図に赤で追記

6. アクセス

瀬戸大橋



N
4
+

6-1

Google Mapに赤黄で追記



6-2

Google Mapに黄で追記